



広報 Ibaraki Public Information

いばらき

8

No.1134
August 2025



特集 戦後80年 消えることのない 戦争の爪痕

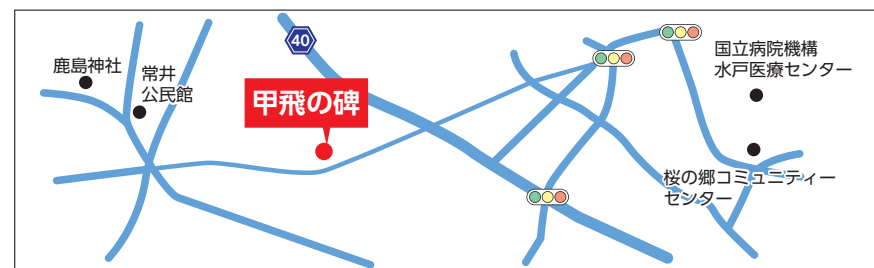
COVER 常井「甲飛の碑」慰霊祭 甲飛喇叭隊
こう ひ らっ ぽ たい

茨城町公式SNSで情報発信中!





▲甲飛喇叭（らっぱ）隊
旧軍関係の慰霊祭における儀仗隊・喇叭隊派遣を行うボランティア団体。
昭和54年に結成。平成24年に一度活動を終えたが、その後、戦後生まれの有志による「海軍衛兵隊11分隊」が引き継ぎ、「甲飛喇叭隊第11分隊」として存続している。



▲現在の石碑は、当初の木碑発見場所とは異なるが、新本さんの出身地・広島県の方向を向いている。

住谷さんは、自身の体験を語ってくれました。「当時は、戦い、犠牲になることが本望と思い、無我夢中でした。訓練は厳しく、最初の10日くらいは、泣いている人もいました。午前中は座学で、飛行機の構造や飛行理論を学びました。午後は実技です。持久走、柔道、剣道、銃剣術、カッター（船）漕ぎ、通信手段（旗、手旗、モールス信号、光信号）の訓練などを行いました。私は、最初は三重県の航空隊に所属し、その後、奈良、清水（静岡県）、土肥（静岡県）、厚木（神奈川県）、横須賀（神奈川県）と多くの異動を経験しました。他の人はそこまで異動はなかったのですが、その理由を知人に聞くと、『住谷は言われたことを、なんでもすぐにこなすから。』と言われました。これは、予科練のモットーである『全てのことにスマートであれ』を実行していた結果なのかもしれません。横須賀では、私を含め30人程度が、特攻訓練に移行しました。それが特攻訓練だったことは、戦後に聞かされました。訓練は20日間にわたりました。朝4時に起こされ、3km走ったのちに勉強。その後、潜水艦や特殊潜航艇に乗る訓練をしました。」

予科練時代を振り返る



住谷 定さん (97)

活動の原動力

なぜ住谷さんは、新本さんの戦没地に関心して、意欲的に活動しているのか、その理由を聞きました。「予科練の伝統的精神『7つの得』の一つに、『先輩を尊ぶ』というものがあります。先輩が亡くなったと聞けば、その場所に行き、慰霊祭を行うのが伝統でした。なので、先輩を偲ぶのは、私にとって当然のことなのです。」

戦争と平和

「戦時中は万事が戦争一色となり、どん底の生活でした。食糧もなく、物もなく、街は破壊され、その悲惨さは言葉に表せないほどです。当時の苦しみ、悲しみ、悲惨さを思い出すと、やはり平和はありがたいと感じます。平和が続くよう毎日祈っています。現在の日本の平和を継続するためには、戦争の悲惨な現実を、後世に確実に伝えていかなければなりません。各国で起こっている戦争を他人事と思っていけません。戦争は勝っても負けても悲惨な戦災だけが残ります。戦争はど馬鹿げたことではありません。」

特集 戦後80年 消えることのない 戦争の爪痕



甲飛の碑 慰霊祭

令和7年6月15日、茨城町常井にある「甲飛予科練の碑（以下、甲飛の碑）」において慰霊祭が行われました。ここは、零戦のパイロット、甲飛予科練第8期新本克巳飛曹長が戦死した地です。

昭和20年6月23日、瀬沼上空でアメリカの戦闘機P-51との空中戦が起こり、茨城町だけで零戦4機が墜落しました。目撃者によると、そのうちの1機である新本さんの機体は、火を噴きながら飛んできて、大きな音を立て墜落。新本さんの体には、無数の銃弾の跡があったそうです。当時22歳でした。

常井では、平成20年から、毎年6月に甲飛喇叭隊によって慰霊祭を執り行っています。



新本克巳さん

戦没地の発見

水戸市在住の住谷定さんは、甲飛の碑や慰霊祭に深く関わっています。

平成20年、茨城甲飛会会長から「新本さん戦死の木碑を確認してくれないか。」と、甲飛予科練第15期生である住谷さんのもとに連絡がありました。

住谷さんが、地元住民の方と藪の中を探索すると、黒ずんだ水が漂う、直径約3mの穴がありました。零戦が落ちたというその穴の水には、油が浮いており、木碑は、穴から1mほど先に立っていました。

戦没地発見から1か月半後、住谷さんは1回目の慰霊祭を開催。翌年には、茨城甲飛会会員、甲飛8期生存者、常井の有志の方の協力のもと、甲飛の碑を建立しました。

穴や木碑周辺から遺骨等が発見された



飛行機の尾輪

- ①、② 遺骨が包まれていた皮製品（飛行帽か?）
- ③～⑤ 飛行機の部品

▼発見当時の木碑



▲零戦が墜落した穴。通称、零戦池。元は3倍ほどの大きさだったらしい。※現在は残存していません。



遺族の想い

今年4月24日、戦後、旧ソ連で拘留中に亡くなった、茨城町出身の林静一さんの遺骨が遺族のもとに返還されました。
今回、林静一さんの孫・林友子さん（茨城町木部在住）にお話を聞きました。

遺骨返還を受けて

「遺骨が返還されたことは、奇跡のようです。ご尽力くださった関係者の皆様に深く感謝しております。一方で、海で亡くなった方など、遺骨の場所が特定できず、帰ってこれない方もたくさんいます。その方たちのことを思うと、申し訳なさを感じます。待ち望んでいるご家族に一日も早い朗報が届くことを願っています。」

林静一さんは、旧ソ連に拘留されていた期間、強制労働に従事させられたそうです。昭和21年11月、36歳の時に旧ソ連の東方ザフスタン州（現・カザフスタン）で亡くなりました。

「祖父は5人兄弟の長男でした。戦死したのは祖父だけです。五男は『自分も同じようにカザフスタンに送られたが、兄は自分よりもひどい所に送られた。』と言っていました。11月という

日本でも寒い時期。現地はそれほど寒かっただろう。祖父には会ったことがないけれど、祖父の話をするだけで胸がいっぱいになってしまいます。」

涙ぐみながら、友子さんは話を続けます。

「今回の遺骨返還を一番喜んでるのは、亡くなった私の父・静一だと思います。いつか父親（静一さん）の遺骨が家に帰ってこれるだろうと、ずっとその想いだけで生きていたと思いますから。」

「父が小学6年生の時に、祖父がいなくなり、その時から、母を支え、一家の大黒柱にならなくてはいけないという、大人にならざるを得ない状況で生きてきたと思います。父親に会いたいという想いと、帰ってこれない父親がかわいそう、悔しい、という想いをずっと抱えていたことでしょう。」

父・静一さんの活動

友子さんの父・静一さんは、遺族会の一員として、各国で慰霊巡拝や遺骨収集の活動をしてきました。

「父は中学にほとんど行くことができず、働いていたそうです。学校で勉強ができなかったことが悔しく、だからこそ、どこかで人生を挽回したいと思っていたはずです。」

遺族会の皆様は、父にとって同志のような存在でした。自分と同じように辛い体験をしてきた方たちであり、励まされ助けられてきたと思います。父が輝いていたのは、遺族会の慰霊巡拝や遺骨収集といった活動が生きがいになっていたからだと思います。」

友子さんは、自宅にある静一さんの活動記録を見ながら、語ります。

「遺骨収集のエピソードは父や会員の方から聞いていました。場所によっては、電波は届かず、シャワーも無く、寝る場所は廊下、ということもあったそうです。しかもトイレはぼっとんトイレで、ドアは複数あっても中はつながっており、隣の人が丸見えの状態だったと言っていました。」

また、とある防空壕での遺骨収

集では、20分が限界という暑さの中、中腰の状態で、20人くらいでバケツリレーの要領で土をかき出す作業もあり、非常に体力が必要であることも知りました。」

戦争と向き合えなかった

友子さんが、戦争について語ることはできるようになったのは、約15年前。自身が40代のときだったと言います。

「小学1年生のとき、祖母から戦争の話を聞きました。祖父の戦死や、人が殺し合ったことから、『戦争は怖い』と思い、その夜は眠れませんでした。そして、『もう戦争ないよね?』と祖母に繰り返し聞いたことを覚えています。」

以来、メディアの戦争特集などは苦しくて見られず、『戦争』に関することは、見ることに、聞くことに、話すことに、全てをシャットアウトしていました。」

父親が亡くなり、自身が遺族会に加入したことで、「目を背けたままではいけない。」と思い、『戦争』に向き合えるようになっていったそうです。

遺族会の活動風景（林静一さんの活動記録より）



林友子さんの父・林静一さん

平和への想い

「私が子どもと一緒にアニメ映画『トイ・ストーリー』を観ていて、とても心に残ったセリフがあります。」

主人公のウッディが、恐ろしい男の子の家から自分の家に帰るとき、『おうちが一番! おうちが一番!』と言うのです。このセリフを聞いたとき、『そうよね、その気持ちよく分かる。平和ってそれよね。』と強く思いました。」

技術は日々進歩しているのに、なぜ人間は戦争をやめないのか、と林さんは言います。

「戦争は、些細な争いから発展するものです。今、日本は平和ですが、テレビなどで見る世界の悲惨な状況が、明日、日本で起こるかもしれない。望まぬ争いが大切なものを奪ってしまう危機感を持っていなければならないと思います。」

戦後80年というこの機会に、子どもから大人まで一人ひとりが『戦争を二度と起こさないために、自分たちはどうすればよいのか。』を考え、『平和』に対する意識を高めてほしいと願っています。」



奪われた青春時代

萩谷 初江 さん(93)



現在、茨城町鳥羽田に在住。萩谷さんが神奈川県立高等女学校在学中に、戦争は始まりました。

横浜大空襲

昭和20年5月29日、横浜は大空襲を受けました。

「学校で定期試験の勉強をしていると、けたたましくサイレンが鳴りました。空襲警報です。窓からは煙が入ってきました。裏山に逃げるために外に出ると、息が苦しいほどの熱風。下町はすでに火の海でした。皆で裏山に逃げた途端、学校が燃えました。」

焼け野原と化した街は地獄絵図です。身内の死体をトタン板の上で火葬している人、炭のようになつた死体、防空壕の中に吹き飛ばされ重なっている死体の山。落ちていた鉄かぶとを拾おうとしたら、首がついていました。

それらを見ても、怖くもないし、驚きもしない。人を焼く臭さを感じませんでした。今思うと、当時の心境が信じられません。

道は無くなっており、なんとなくの方向に歩いて家に帰りました。道は焼けており、熱で靴の底が抜けました。途中、山道に時限爆弾が落ちていましたが、『いつか戦争で死ぬんだから。』と、爆弾を跨いで進みました。」

勤労働員

その後、萩谷さんは田奈部隊※へ勤労働員となりました。

「仕事は高射砲の玉の製造です。高射砲の筒にスパゲティを黒く染めたような火薬を詰め、絹糸で上下を結びます。火薬のせいか顔が腫れましたが、それでも続けました。

作った高射砲は、肩に担いで、格納庫へ運びました。」

「お国のために、天皇陛下のために。」という言葉を通じて、空腹の状態でも働き続けたと語ります。

※田奈部隊：現在の神奈川県横浜市青葉区で活動していた旧陸軍部隊。

敗戦

「軍国主義の教育を受けて育った私は、『土壇場には神風が吹いて、どんな戦争にでも勝つ。』と思っていたので、戦争に負けたと聞いたときは、きょとんとするばかりでした。何のためにあんなに頑張ったのか。家族や家を失った子どもたちは、これからどうするのだろうか。」

戦争が終わった安堵と不安が入り乱れ、夜も眠れませんでした。」

戦争が終わり、萩谷さんは家族の疎開先である、母の故郷・茨城町鳥羽田に帰りました。

「電車はいつ来るのか分からない状態で、空腹でふらふらになりました。」

現在、茨城町上石崎に在住。当時は谷田部に住んでいました。終戦時は、小学6年生でした。

食べ物がなかったが一番辛かった

戦時中は、食べ物がなかったが一番辛かったと語ります。

「私の家は農家で、米を作っていました。しかし、供出制度により、作った米は強制的に政府に買い上げられてしまうため、家族が食べる分はわずかでした。

米が足りないのです、ご飯には、さつまいもやじゃがいも、とうもろこしを入れてかさ増しをしていました。」

母は、自分たちが食べる分を確保するために、物置の2階に米を隠していました。米袋を抱え、はしごを登っていく母の姿を見て、大変だなと思っていました。」

当時は、どこも食糧不足で、学校の運動場や堤防は、大豆などを栽培するための畑として使われていたそうです。

大きい貧富の差

当時は、貧富の差が大きかったと言います。

「うちは貧しく、長靴を買ってもらえませんでした。雪が降ったときは、下駄で外に出て遊びました。」

空襲と隣り合わせだった毎日

生活は常に空襲を警戒しての毎日でした。

「家でも学校でも、常に防空頭巾を身に着けて過ごしていました。

友達と遊ぶときは、空襲警報が鳴った場合にすぐに避難できるように、小さい弟妹を背におぶった状態で遊んでいました。」

飯田さんは、水戸空襲※を見ていました。

「水戸の方面が炎で真っ赤になりました。その赤い空をB-29が2、3機飛んでいくのです。まるで悪い夢を見ているかのようでした。

戦争はもうしたくない。決してやらないでください。」

※水戸空襲：昭和20年8月1日未明に起きた大規模空襲。

茨城町戦没者追悼式

先の大戦において尊い犠牲となられた町関係戦没者の御霊に対し、追悼の意を捧げると共に、町をあげて平和を祈念し、町発展の決意を新たにするため、追悼式を実施します。

- ▶日 時 9月21日(日) 午前10時
(午前9時15分～受付)
- ▶場 所 「やすらぎの丘」慰霊塔前(茨城町小堤967番地)
※雨天の場合は、旧駒場小学校体育館
- ▶その他 役場駐車場をご利用ください。

【問合せ先】 社会福祉課 ☎029-240-7112 (直通)



萩谷さんのこれまでの人生を綴った小冊子「私の歩んできた道」。戦時中や戦後について、詳しい記載がある。

がら、やつのことで家にたどり着きました。母と叔母が出迎えてくれ、抱き合って泣きました。戦後の暮らしも大変で、食べるものが少なく、父の衣服をお米や野菜などの食糧に替えました。また、疎開してきたことを子どもたちに馬鹿にされ、嫌がらせもたくさん受けました。」

戦争がなかったら..

「あの戦争がなかったら今の私はどうなっていたのだろうか。戦争によって、人生の楽しい時である青春が奪われました。素敵な男性がいても、みんな兵隊になるので、声をかけられず、小さい声で『いつてらっしゃい』しか言えませんでした。その方たちもみんな戦死してしまいました。」

戦争は残酷であり、よく分からないまま巻き込まれる子どもが一番かわいそうだと思います。絶対に戦争はしてはいけません。これからの時代を生きる人にあんな思いはさせたくありません。」

戦争と生活

飯田 喜久江 さん(91)



5/23(金)
～25日(日)

初めて見るランドセルに興味津々！ 小学校入学祝い品(ランドセル) 見本展示会を開催しました



町では、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図るため、小学校等へ入学する町内在住の児童に対し、入学祝い品としてランドセルを贈呈する事業を実施しています。

駒場庁舎で開催された見本展示会に訪れた子どもたちは、色とりどりのランドセルを手にとり、嬉しそうにお気に入りの色を選んでいました。

まだ申請がお済みでない方は、お早めに学校教育課までお申し込みください。申請が遅れると、ご希望の色を選べない場合がありますのでご了承ください。なお、ランドセルの贈呈時期は令和8年1月下旬を予定しています。

※この事業は、ふるさと納税を通して全国の皆様からいただいた寄附金を活用して、実施しています。

6/8
(日)

クリーンアップひめまネットワーク ひめま流域クリーン作戦の実施

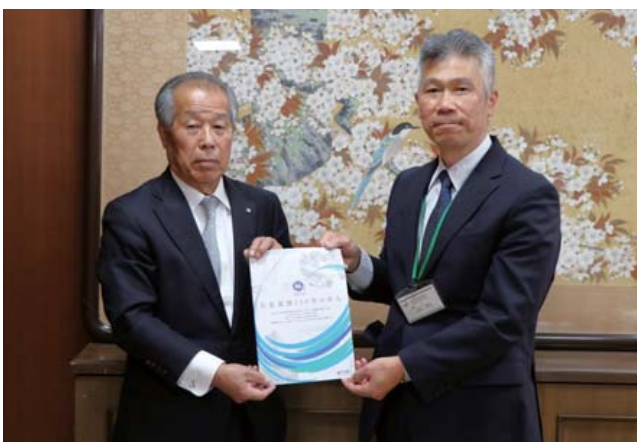


クリーンアップひめまネットワーク(水野恵美子会長)は、沼沼の水質浄化活動の一環として、ひめま流域クリーン作戦を実施し、沼沼自然公園を拠点に沼沼周辺のごみ拾いを行いました。

当日は、同ネットワーク会員の企業や団体のほか、地元の町民など約250人が参加し、60kgのごみを回収しました。

5/9
(金)

災害への対応を考える 水戸地方気象台長が来庁しました



水戸地方気象台長の五味孝夫さん(写真右)が来庁し、小林宣夫町長と懇談を行いました。

懇談の間では、五味さんから、茨城県における気象の特性や防災・災害に関する気象台の取り組みについて紹介されました。また、災害時において町と気象台の連絡手段となるホットラインの確認が行われました。

町では、今後も水戸地方気象台と連携を密にしながら、迅速な災害対応に努めていきます。

5/28
(水)

茨城生物の会 50周年記念誌を寄贈



茨城生物の会顧問の小菅次男さん(写真右)が、会発足50周年を記念した「茨城生物」50周年記念誌を発行したことに伴い、小林町長を訪問しました。「やっとのことで完成した。」という記念誌が、町に寄贈されました。

ヒヌマイトトンボの発見者の一人でもある小菅さん。「たくさん飛んでいるから、まさか新種だとは思わなかった。」と発見当時の状況を語りました。小林町長は「先生のお話や記念誌の内容から、ヒヌマイトトンボへの並々ならぬ熱意を感じる。」と述べました。

茨城県知事選挙の投票日は 9月7日(日) です

任期満了に伴う茨城県知事選挙について、選挙期日等が決定したのでお知らせします。皆さんの貴重な一票を県政に反映させるため、必ず投票しましょう。

1 当日投票 投票日 9月7日(日)
投票時間 午前7時～午後6時
投票所 投票所入場券に記載してありますので、ご確認ください。

2 期日前投票
(1) 茨城町役場期日前投票所
期間 8月22日(金)～9月6日(土)
時間 午前8時30分～午後8時
(2) イオンタウン水戸南期日前投票所
期間 8月30日(土)～9月6日(土)
時間 午前10時～午後8時



郵便等による不在者投票制度について

郵便等による不在者投票は、身体に重度の障がいがある方があって投票所に行けない方が、郵便等により投票をすることができる制度です。この制度を利用するには、あらかじめ「郵便等投票証明書」の交付の申請が必要です。申請書の審査等に時間がかかる場合がありますので、制度のご利用を考えている方は、お早めに茨城町選挙管理委員会(役場総務課内)までお問い合わせください。

郵便等による不在者投票ができる方

手帳等の種類	障害の部位	等級
身体障害者手帳	両下肢・体幹・移動機能の障がい	1級又は2級
	心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸の障がい	1級又は3級
	免疫・肝臓の障がい	1級から3級
戦傷病者手帳	両下肢・体幹の障がい	特別項症から第2項症
	心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓の障がい	特別項症から第3項症
介護保険被保険者証	要介護状態区分	要介護5

※上記の郵便等による不在者投票をすることができる方のうち、一定の要件を満たす方は、代理記載制度を利用できます。詳しくは、茨城町選挙管理委員会までお問い合わせください。

【問合せ先】 茨城町選挙管理委員会事務局(総務課内) ☎029-240-7125(直通)

6/19 (木) 町立小中学校6校全校が受賞 学校情報化優良校再認定証授与式

学校情報化優良校再認定証授与式が、茨城町立大戸小学校(高安洋子校長)を会場に開催されました。

学校情報化優良校認定とは、日本教育工学協会(JAET「後援:文部科学省」)が教育の情報化の推進を支援するため、総合的に情報化を進めた学校を客観的に評価し、認定する制度です。町立小中学校6校は、令和5年1月に学校情報化優良校の認定を受けていますが、その後も、情報化の推進体制、教科指導におけるICT活用等の情報教育を積極的に取り組んだ結果、令和7年4月に再認定されました。

町内すべての学校が再認定されたことを受けて開催された授与式では、毛利靖氏(日本教育工学協会(JAET)理事兼茨城大学教育学部教授・附属学校園総括長)を来賓に迎え、授与式およびICT機器を活用した授業を関係者に公開しました。

再認定期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日



6/23 (月) 「KING&QUEENコンテスト2025」ゴールドマイスター賞受賞 豊田大介さん 表敬訪問



JA水戸茨城町メロン部会に所属する豊田大介さん(宮ヶ崎)が、5月28日(水)に開催された、いばらきメロン品評会「KING&QUEENコンテスト2025」のイバラキング部門のゴールドマイスター賞(最優秀賞)受賞報告に小林町長を表敬訪問しました。

このコンテストは県オリジナル品種メロン「イバラキング」及び県産「赤肉メロン」について、外観、食味ともに優れた逸品を選抜する県主催のコンテストで、今年で3回目の開催となります。

受賞報告で豊田さんは「徹底した土づくり、温度管理、種づくりにこだわっている。今後はより秀品率の高いメロンの生産に取り組むとともに、赤肉メロンでもコンテストに挑戦し、受賞を目指したい。」と、意気込みを語りました。

小林町長からは「今回の受賞は茨城町のメロンのブランド力の向上に大いに貢献した。引き続き茨城町のメロンの知名度アップに尽力していただきたい。」と、激励の言葉が送られました。

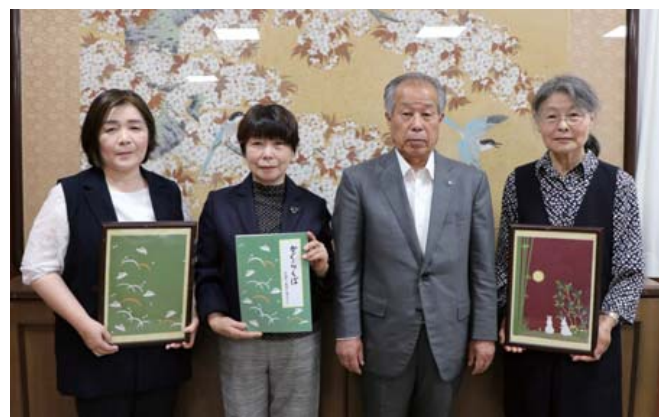
6/3 (火) 「七絃の会」 茨城町の風習と昔ばなし 「かぐらくぼ」発行

昔ばなし「七絃の会」(藤枝安子代表)は、茨城町に残る風習と昔ばなしを集めた冊子「かぐらくぼ」を発行し、そのPRのため小林宣夫町長を表敬訪問しました。

「七絃の会」は、茨城県の地域に埋もれている昔話や伝説を共通語や土地ことばに整え再話するなど、いずれは途絶えてしまうであろう民俗文化遺産を継承していく活動を長年続けています。

本冊子は、実際に各地区へ出向いて聞き取りをし、茨城町の風習と昔ばなしを1冊にまとめたもので、表紙も七絃の会の藤枝豊子さんが手掛けた懐かしくもかわいらしい図柄となっており、県内の図書館、町内の小中学校に教材として配布されています。七絃の会代表の藤枝さんは、「かぐらくぼ」を多くの方に読んでいただいて、風習・昔ばなしを後世に長く伝えていただけたらと話していました。

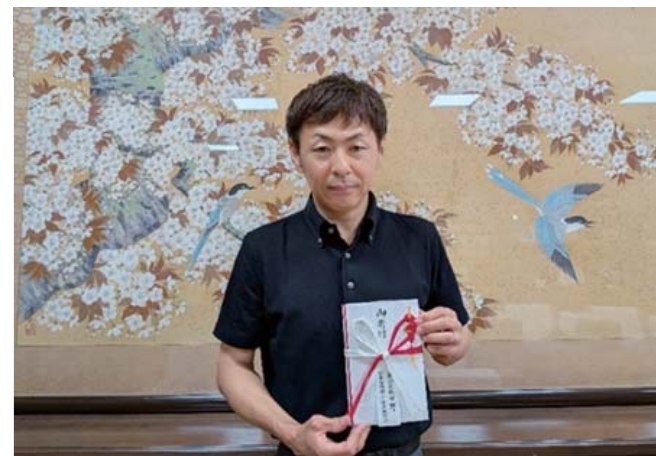
なお、「かぐらくぼ」という冊子名は、昔話のタイトルからとっています。獅子舞たちが狐に化かされ神楽を踊らされた場所が野曽と南栗崎の窪地でした。そこから、この辺りを「かぐらくぼ」と呼ぶようになり、この地名を後世まで残そうと冊子名に選んだそうです。



藤枝豊子さん 藤枝安子さん 青木いづみさん



6/24 (火) 株式会社 日野 まちづくりの一助とするための 寄附



(株)日野 空間情報部 小池部長

町の下水道関連の事業を請け負う株式会社日野(小笠原亜紀子代表取締役)より、10万円の寄附がありました。

小笠原代表より、「少しでも町の発展に貢献できればと思います。」と寄附に至った想いをいただきました。

町では、多大な心遣いに感謝し、貴重な財源として役立てていきます。

6/16 (月) 橋本畜産株式会社 学校給食へ「常陸牛 煌(きらめき)」 を寄贈



町立幼稚園、小中学校の子どもたちに、「茨城町で育てた“常陸牛 煌”を食べて、まっすぐに成長してほしい。」と、橋本畜産(株)(橋本武二代表取締役)から、常陸牛 煌60kgが寄贈されました。

寄贈された常陸牛 煌は、地産地消及び食や命に対する感謝の気持ちを持つことを目的に、6月16日の学校給食でカレーとして提供。青葉小学校6年生のクラスには、「いただきます!」のあいさつとともに、□いっぱいカレーを頬張る姿がありました。常陸牛カレーを食べた子どもたちからは、「楽しみにしていた。」や「柔らかくて甘く感じる。」など、喜びの声が多数聞かれました。

災害時の備え、できていますか？

皆さん、災害に対する備えはできていますか？
いざという時のために、非常食や避難袋などを準備しているご家庭は多いかと思います。
今回は、「健康を守る備え」についてご紹介したいと思います。

1 体の備えについて

災害に負けない体づくり・日頃からの健康管理も大切です。

① 自分の体の状態を把握しておく

災害時の環境変化や過度なストレスによって、血圧や血糖値が上昇する恐れがあります。「健康診査」を受けて、ご自身の体の状態を把握しておきましょう。

② 病気を悪化させない

持病がある人は普段から治療や管理をおこない、できるだけ状態を安定させておきましょう。災害時は薬が手に入りにくくなる可能性があるため、おくすり手帳と一緒に持ち出せるようにしておきましょう。

③ 体力づくりをしておく

災害を乗り切るためには体力が必要です。日頃から体を動かし、体力をつけましょう。

2 避難生活を健康に過ごすために

災害時は、断水や停電、衛生状態を保つことが難しい等、普段とは異なる生活を強いられる可能性があり、それらの理由等から病気になるリスクが高まります。

避難生活を健康に過ごすために以下のことを心がけましょう。

① 水分補給をこまめにしましょう。

アルコールやコーヒーには利尿作用があるので避けましょう。

② こまめに手洗い・うがいをしましょう。

流水が使えない場合は、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

③ 食中毒に注意しましょう。

避難所等で配られた食品はすぐに食べましょう。発熱や下痢等の症状がある場合、食品の取り扱いをしないようにしましょう。

④ 積極的に体を動かしましょう。

特に車中避難では、エコノミークラス症候群の危険性が高まります。
エコノミークラス症候群の予防のためには、軽い体操やふくらはぎのマッサージなどをこまめに行ったり、禁煙することも重要です。

⑤ 口の中を清潔に保ちましょう。

むし歯や歯周病だけでなく、誤嚥性肺炎の予防にもつながります。

⑥ 睡眠・休息を十分にとりましょう。

不安を感じてしまう時だからこそ、意識してとるようにしましょう。

⑦ 必要に応じてマスクを着用しましょう。

発熱や咳がある場合やほこりなどを避けるためにマスクを使いましょう。

発災の季節によっては、熱中症や低体温症への対策も必要になります。非常食や避難袋と併せて、災害時に自身や家族の健康を守るための備えもしておきましょう！

【問合せ先】健康増進課 ☎ 029-240-7134（直通）



入居のご相談も随時対応しております。ショートステイもご利用できます。



グループホームひぬまの杜 ☎029-240-8321
東茨城郡茨城町中石崎1055 担当/大塚

募 入
集 居
者

募 職
集 員



グループホームひぬま ☎029-240-8117
東茨城郡茨城町中石崎159-1 担当/渡邊・久保田

文芸

《短歌》

○日溜りに体まるめて絹さやの筋
取る亡母の小さき背中
大野 友子（城之内）

●植木鉢どけたらあわや大ムカデ
彼命がけ我ボケ防止
諸川 恵子（駒場）

●徒然に心に咲きし言の花君に贈
ろう花束にして
白田 美鶴（網掛）

争いの国に生まれた幼子のカメ
ラに向ける鋭い眼差し
河野 久子（網掛）

お下がりあがりのワンピース着てコン
サート亡姉は知らない今の私を
佐藤よし子（谷田部）

銀色のやかんを出して香ばしく
麦茶沸かせば夏はすぐそこ
中島三千代（桜の郷）

さざ波に月影ゆれて心もゆれて
花びら浮べ水に占う
大森 欣子（駒場）

新盆や脳裏に浮かぶ在りし日の
夫の面影夫の声色
浦井 正子（宮ヶ崎）

素っ気なく吾手離れるコレク
ション思い出語る見返り美人
内田 理（長岡）

緑濃き山間の朝うぐいすの鳴き
わたる声空を抜けゆく
小堤美智子（小堤）

（評）大野さん一歳を取り小さくなった体で、一つひとつ丁寧に作業する母の在りし日を偲ぶ。温かくも切ない光景である。諸川さん一ムカデと作者が鉢合わせしたときの両者の対比が面白い。ムカデには大事でも、とこの判断はボケ防止になるという発想がユーモラス。白田さん「言の葉」ではなく「言の花」とすることで、作者の想いが窺い知れる。その花束を受け取る相手はさぞかし幸せだろう。

4首（句）目からは初句の第音の五十音順に掲載しています。

《俳句》

○夏つばめ六時のチャイム空かける
中島三千代（桜の郷）

●アヤメ咲く水面揺らして嫁の行く
浦井 正子（宮ヶ崎）

●桔梗咲き亡き父想う黒南風の夕
佐藤よし子（谷田部）

学生がくせいの炭酸ボイス聞こえけり
小堤美智子（小堤）

風薫るユリの香庭に漂いて
諸川 恵子（駒場）

かたつむり今日の晴れ間は定休日
野口 秋夫（上石崎）

この星の裏に行けたら夏の日々
白田 美鶴（網掛）

しとしとと息づく様は青時雨
高見 英子（大戸）

疱疹ほうしんの痛みうすらぐ梅雨晴間
村井 孝子（長岡）

油断するいつの間にか草笑う
平本 裕男（小幡）

（評）中島さん一明るさを残しながらも夕方に向かう空。チャイムの音を合図につばめ達が力強く自由に飛ぶ様子。その空気感や色彩までも感じられる。浦井さん一まるで祝福しているかのように咲き誇るアヤメに彩られ、多くの人に見守られる中、嫁入り舟が行く。この伝統が未永く続いてほしいもの。佐藤さん一桔梗にまつわる父親との思い出とはどのようなものだろう。結句の「黒南風の夕」に、作者の感傷が込められた。

《作品の送付先》

ハガキ等に3首、3句以内を書いて、住所氏名明記の上、月末までにお送りください。
郵便・〒311-3192
茨城町小堤1080
茨城町秘書広聴課 宛

FAX・029（292）6748
茨城町秘書広聴課
【問合せ先】秘書広聴課
☎029（240）7126（直通）

企画展

「THE HEADLINERS 2025 - 爆誕！セラミック・スーパーノヴァ」

茨城県陶芸美術館ならではの多角的な視点で選び抜いた16名の作家を紹介します。それぞれの感性で陶芸に挑戦する新しい表現が響き合い、陶芸の今を映し出します。

輝く“超新星”たちの競演を、ぜひご覧ください。

- ▶開催期間 11月30日（日）まで
- ▶場 所 茨城県陶芸美術館（笠間市笠間2345番地、笠間芸術の森公園内）
- ▶開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ▶休 館 日 毎週月曜日（ただし、祝日の場合は開館、翌火曜日休館。8月12日（火）は臨時休館）
- ▶入 館 料 茨城県陶芸美術館ホームページ等をご確認ください。

【問合せ先】 茨城県陶芸美術館 ☎0296-70-0011

第6回土曜講座「THE HEADLINERS 2025 — 活況あふれる現代の陶芸アートシーン」

企画展「THE HEADLINERS 2025」で紹介する作家について触れながら、多彩でフレッシュな作家が次々と出現している日本の陶芸シーンの、現在（いま）についてお話しします。

- ▶日 時 9月13日（土） 午後1時30分～3時
- ▶場 所 茨城県つくば美術館 2階アルスホール（つくば市吾妻2-8）
- ▶講 師 岩井 基生 氏（茨城県陶芸美術館主任学芸主事）
- ▶定 員 80名
- ▶料 金 無料
- ▶申込方法 事前予約（50名まで）
つくば美術館ホームページからお申し込みください。
※残り30名は、当日午後1時から受付
- ▶申込締切 定員になり次第締め切り

【問合せ先】 茨城県つくば美術館 ☎029-856-3711



今村能肇「time」2022年 個人蔵

防災行政無線の放送内容の確認にご利用ください

防災行政無線レフォンサービス
放送内容が、自動音声で流れます。
☎0800-800-8848 (通話料無料)

登録制メール配信サービス
放送内容を、放送と同時にメールで配信します。
その他、町ホームページにも放送内容を掲載しています。

お知らせ マリッジサポーターによる結婚相談会

経験豊かなマリッジサポーターが、結婚に関する相談に応じます。相談会会場でプロフィール登録をする方は、上半身または全身が写った写真（Ｌ判程度）を持参してください。

相談会の開催日時や開催場所につきましては、ホームページをご覧ください。

▶対象 県内に居住または通勤する独身の方やその家族など

【問合せ先】
マリッジサポーター
県央地域活動協議会（担当 水野）
☎080-1004-1818



お知らせ 茨城補成会主催『地域交流夏祭り』を今年も開催します！

昨年大盛況だった「地域交流夏祭り」を、今年も開催します。今年のテーマは「BeYOUnd-あなたらしく、もっとその先へ」。みんなの「らしさ」を詰め込んだステージを予定しています。グルメもさらにパワーアップ予定！

ご家族やご友人、小さなお子様から大人の方までお誘いあわせのうえ、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

※うちの配布を予定していますが、当日は高温が予想されますので、日傘などの熱中症対策をしてご来場いただきますようお願いします。

▶日時 8月23日(土) 午前10時～午後6時30分
▶場所 社会福祉法人 茨城補成会
(茨城町上石崎4698-2)

▶駐車場 有・無料（台数に限りがあります）
▶料金 入場料無料・入退場自由
(屋台・ワークショップ等は有料)

詳細は右記の「茨城補成会」ホームページをご参照ください。

【問合せ先】社会福祉法人 茨城補成会
☎029-293-7401



うちの子「結婚」しないのかしら？

独身のお子様の結婚相談承ります

お子様の結婚に関するお悩み、プロの仲人がお答えします。

まずはお気軽に仲人にご相談下さい

029-353-8305

結婚相談所 ムスベル

お知らせ 予防接種のお知らせ

二種混合、麻しん・風しん混合2期の予防接種はお済みですか？

▶二種混合（破傷風・ジフテリア）

対象者 11歳以上13歳未満

▶麻しん・風しん混合（MR）2期

対象者 平成31年4月2日～令和2年4月1日
生まれのお子さん

※対象年齢を過ぎてしまうと全額自己負担になってしまいます。普段忙しく時間のとれない方は、夏休みを利用して予防接種を受けましょう！

※予診票がない方は、母子健康手帳を持参のうえ健康増進課へお越しください（二種混合、麻しん・風しん混合の予診票は4月に送付しています）。

【問合せ先】健康増進課
☎029-240-7134（直通）



お知らせ サイクリングイベント「茨城町サポスポサイクルチャレンジ」開催

サイクリング企画第5弾、「茨城町サポスポサイクルチャレンジ」を開催します！

イベント期間中、レンタサイクルをご利用または茨城町サイクルサポート、立ち寄りスポットをご利用いただいた方を対象に、カプセルトイ抽選会を実施します！

レシートや抽選券を持って抽選会場へお越しいただくと、町の特産品などが当たるカプセルトイ抽選が楽しめます。

ぜひ、自転車で茨城町を巡りながら、オリジナルグッズや町の特産品などをゲットしてください。皆さまのご参加をお待ちしています！

▶日時 9月1日(月)～11月30日(日)
詳細は、来月発行の「広報いばらき9月1日号」をご覧ください。

【問合せ先】商工観光課
☎029-240-7124（直通）

TO THE FUTURE OF OUR TOWN

常陽銀行 MEBUKI

茨城町公式LINE
町の情報を好評配信中！
ぜひご登録ください！

8月の納税

- 町県民税・森林環境税 2期
- 国民健康保険税 2期
- 介護保険料 3期
- 後期高齢者医療保険料 2期

納期限までに金融機関、コンビニ、スマホ決済アプリ、地方税お支払サイトまたは役場窓口で納付しましょう。

納期限は **9月1日(月)**

お知らせ 第4回いばらき県央地域スポーツフェスティバル開催

いばらき県央地域連携中枢都市圏域に拠点を置くプロスポーツチーム等の選手と触れ合い、交流できるイベントを開催します。

▶日時 9月21日(日) ※雨天中止
午前10時～午後3時
(受付：午前9時30分～)

▶場所 タスパジャパンミートパーク
(小美玉市玉里運動公園)

▶内容 スポーツ体験教室
・3×3バスケットボール（茨城バックボーン）
・チアダンス（茨城ロボッチアダンススクール）
・サッカー（水戸ホーリーホック）
・野球（茨城アストロプラネッツ）
・陸上（日立女子陸上競技部）
※サブコンテンツとして、当日参加可能のフリースロー等や地元飲食店によるブース設置もあります。

▶参加費 無料

▶申込期間 8月1日(金)～8月31日(日)

▶当日の連絡先

タスパジャパンミートパーク
☎0299-26-5761

【問合せ先】いばらき県央地域連携中枢都市圏事務局
(水戸市市民協働部スポーツ課)
☎029-306-8136

遺言・相続・会社に関するお困りごとは私にお任せください

望月 司法書士 事務所
FACIAL SALON @ MENARD
フェイシャルサロン 水戸吉沢

司法書士 望月 正雄
行政書士

090-1267-4222
〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町354番地の97

Information 情報

お知らせ 行政相談・行政書士相談会を開催します

行政相談

「どこの窓口に申請すればよいか教えてほしい」など、行政に対する手続き等で困っていることはありませんか。

町では総務大臣から委嘱された2人の行政相談委員が活動しており、下記の日程で相談を受け付けます。

▶日時 8月6日(水) 午後1時～4時
▶場所 茨城町役場2階 第6会議室
▶行政相談委員 草野 一夫、海老澤 栄子
▶その他 事前申込不要（受付順）、無料

【問合せ先】秘書広聴課 秘書広報・協働推進グループ
☎029-291-8802（直通）

行政書士無料相談会

遺言、相続、各種許可等の行政手続き相談など、行政書士が、下記の日程にて相談会を行います。

▶日時 8月13日(水) 午後1時～4時
▶場所 茨城町役場2階 第5会議室
▶その他 事前申込不要（受付順）
毎月第2水曜日開催

【問合せ先】茨城県行政書士会 水戸支部事務局
☎029-303-5812

※注意事項
相談時間は最大30分間を目安とし、長時間の相談はお控えください。

お知らせ 人工肛門・人工膀胱造設の皆様へ講習会のお知らせ

人工肛門・人工膀胱造設の方とそのご家族のための講習会を開催します。

▶日時 9月21日(日) 午前10時～午後3時
(受付：午前9時30分～)

▶場所 四季健康館カルチャールーム
(小美玉市部室1106)

※スリッパなどの上履きを持参してください。
▶内容 ○皮膚・排泄ケア認定看護師による講演
及び相談会

○ストーマ装具の展示・説明

▶定員 60名
▶参加費 1,000円(弁当・飲料他) ※同伴者も同様
▶申込方法 9月14日(日)までに下記へご連絡ください。
(定員に達し次第、参加申込を締め切ります。)

【問合せ先】公益社団法人日本オストミー協会茨城県支部
中部地区センター長 中村登志則

☎・FAX 029-247-7836
(留守電またはFAXで、市町村名、氏名、電話番号をお知らせください。)



子育て支援センター

遊びに
おいでよ

茨城町子育て支援センターは子育て親子に寄り添い、
親子のふれあいと絆を深める活動をおこなっています。

まんまる一むのご案内

対象 未就学のお子さんと保護者（親族の方）
※兄弟であっても小学生の利用はご遠慮ください。
開放時間 午前及び午後の2部制
月～金曜日及び第1土曜日（8月2日）
《午前》9時30分～11時30分 《午後》1時30分～4時
組数の制限なし。
（状況により、安全面を考慮して利用を制限する場合があります）
※5組以上でご利用を希望する場合は、事前にご連絡ください。

◆読み聞かせ◆

日時 8月6日(水) 午前11時～11時15分
子育てボランティアの方が、絵本や紙芝居の読み聞かせに来てくれます。親子でゆったりとお楽しみください。

◆まんまるたいむ◆

時間 午前11時～11時15分 ・ 午後3時～3時15分
「わくわくおはなし」「ふれあひあそび」「ハイハイレース」などを日替わりで行います。
詳しくは、町ホームページ・支援センターだよりをご覧ください。

今月は
第1土曜日
も開放しています！



誕生会のお知らせ(8・9月生まれ) 要予約

保育士による楽しい出し物や、お友達との交流タイムもあります。皆様のお越しをお待ちしています。

対象 茨城町に住民票のある未就学のお子さんと保護者
(2か月合同でのお誕生会となります)

日時 8月8日(金)
午前10時30分～11時

場所 まんまる一む (定員5組)
予約期間 7月28日(月)～8月7日(木)
午前9時～正午(日を除く)
電話または子育て支援センター窓口で受け付けます(定員になり次第締め切り)。

大きいボールプールになりました♪

大きくなったまんまる一むのボールプールでたくさん遊びましょう☆



5月に消防署見学に行ってきました！

消防車や救急車に乗って、放水体験をしました。

※次回は11月頃を予定しています。詳しくは、11月の支援だより、町ホームページでご確認ください。



子育て相談ご利用ください

対象 未就学のお子さんをもつ保護者
場所 子育て相談室
受付時間 月～金曜日及び第1土曜日(8月2日)
午前9時～午後4時 (※祝日を除く)



子育てに関する悩みや不安、誰かに話を聞いてもらいたいことなど、さまざまな相談に保育士が対応します。相談の間、保育士にお子さんを預けることができます。電話での相談も受け付けていますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

※感染症などの状況により、予定を変更する場合があります。詳細はお問い合わせください。

【予約・問合せ先】 こども課 子育て支援センター ☎029-291-0980 (直通)
茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内

Information 情報

となりの
まちから

Neighboring town

ひたちなか市

○ひたちなか祭り・ひたちなか祭り花火大会

▶日時 8月16日(土)～17日(日)
▶会場 【祭り】表町商店街(ひたちなか市表町)、昭和通り等
【花火】陸上自衛隊勝田駐屯地(ひたちなか市勝倉3433)



ひたちなか祭り花火大会

○みなと八朔まつり

▶日時 8月23日(土)～24日(日)
▶会場 那珂湊地区全域

○那珂湊海上花火大会

▶日時 9月6日(土)
▶会場 那珂湊漁港(ひたちなか市湊本町20)

市のSNSで随時情報を発信しています。

▶X(旧Twitter) 観光ひたちなか @kankohitachinak
▶Instagram ひたちなか市【公式】 @hitachinaka_official

【問合せ先】ひたちなか市観光振興課
☎029-273-0111(内線1346～1348)

大洗町

○全日本ビーチレスリング選手権大会

▶日時 8月10日(日)
▶会場 大洗サンビーチ(大洗町大貫町地先)

○大洗八朔祭

▶日時 8月24日(日)
▶会場 大洗町全町内

○室屋義秀エアショー in 大洗

▶日時 8月31日(日)(予定)
▶会場 大洗サンビーチ(大洗町大貫町地先)

詳細やその他イベント情報は
こちら→



室屋義秀エアショー in 大洗

【問合せ先】大洗町商工観光課
☎029-267-5111(内線332)

8月は経済産業省主唱の
電気使用安全月間です！

アース線
漏電した電気を大地に
逃がし、感電等の危険
を防いでくれます

感電事故は
アース線と漏電遮断器
で防ぎましょう！

安全エレちゃん

協会HP

関東電気保安協会

お知らせ

親子すこやか宿泊研修事業の参加者募集

社会福祉法人茨城県母子寡婦福祉連合会では、県内の母子家庭等の親御さんとお子さんが、広く地域を超えて交流と楽しい体験が出来る「宿泊研修事業」の参加者を募集します。

参加を希望される方は、茨城県母子寡婦連合会へお問い合わせください。

▶日時 9月20日(土) 午後2時～9月21日(日) 午後1時
▶場所 水戸市少年自然の家(水戸市全隈町80-1)
☎029-254-2200

※現地集合、現地解散、遅刻早退はできません
▶定員 50名(定員を超えた場合は抽選)
▶対象 年長児～中学2年生
▶参加費 1世帯1,000円
▶申込方法 申込用紙に記入の上、FAXまたは郵便
▶申込期限 8月15日(金)

【問合せ先】社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会
☎029-221-7505

野菜を育てるために、なくてはならない。



Fujieda Farm



藤枝農園では、農地を貸してくれる方、一緒に働いてくれる方を募集しています 詳しくはHPへ↑

健康 レシピ

健康をめざしたレシピのご紹介

健康テーマ 「夏バテ予防レシピ」

夏になると「食欲がない」「体がだるい」などの不調を感じる「夏バテ」に悩まされたことはありますか。

しっかり食事をとらないと、栄養が偏って疲れがとれなくなり、体調を崩しやすくなってしまう。夏バテ予防にまずは食事から！夏バテに負けない体づくりを目指しましょう。

豚肉とトマトのニラ玉炒め

【材料】4人分

豚こま肉	300g
塩	少々
こしょう	少々
トマト	2玉
ニラ	1束
卵	4個
ポン酢	大さじ4
A にんにくチューブ	小さじ2
ごま油	小さじ1
いりごま	少々

【作り方】

- ① 豚こま肉に塩こしょうをふる。トマトは8等分のくし形切りにする。ニラは3cmの長さに切る。卵は溶きほぐす。
- ② フライパンにごま油を熱し、溶き卵を回し入れてさっと炒め、半熟状になったら取り出す。
- ③ フライパンで豚こま肉を炒め、火が通ったらトマト、ニラを加え、炒める。
- ④ ③に合わせ調味料Aを加え、卵を戻し入れてさっと炒める。器に盛り、いりごまを振りかける。

栄養成分(1人分)
エネルギー 269kcal
塩 分 1.5g

ポイント

夏野菜であるトマトは、疲労回復や食欲を増進させる効果があります。

食生活のポイント

- 朝ごはんをしっかり食べましょう
- たんぱく質をしっかりととりましょう
肉・魚・卵・大豆製品・乳製品に多く含まれています。
- ビタミン・ミネラルを補給しましょう
特にビタミンB1やビタミンCは夏バテ予防の強い味方です。
- 冷たいものの飲み過ぎ・食べ過ぎに注意しましょう

《ビタミンB1を多く含む食品》



主に豚肉やうなぎ、大豆に多く含まれています。アリシンを多く含む玉ねぎやニラ、にんにくなどと一緒に食べると吸収率がアップします！

《ビタミンCを多く含む食品》



主に野菜や果物に多く含まれています。ビタミンCは体内で作ることができないため、毎日こまめに摂取することが大切です。



町ホームページには、これまでの健康レシピを掲載しています。ぜひご覧ください。



【問合せ先】健康増進課
☎ 029-240-7134 (直通)

みんなの図書館

茨城町立図書館
☎ 029-240-7131
ホームページ
https://www.lib.t-ibaraki.jp



図書館カレンダー

8月の休館日は、4日(月)、11日(月)、18日(月)、24日(日)、25日(月)です。

おすすめ新着本

新刊1



クロエとオオエ
(有川 ひろ 著)

宝石商の嫡男・頼任と彫金を家業とする職人の娘・彩。「宝石の価値ってそんなに重要？」最初のデートで頼任が贈ったリングを突き返してから、二人の関係は「メシ友」と「恋人」の間で謎のまま。頼任の店のお得意様のブライダルジュエリーのオーダーを皮切りに、クロエがジュエリーデザインを引き受けるようになってから、二人の関係性が変わっていく。

新刊2



昭和探偵物語
(天童 荒太 著)

ビートルズが日本を訪れてコンサートを開いた昭和41年。日本の片隅で、或るおぞましい事件が起きた。流しのギター弾き鯨庭行也は、警視庁の国生警部に頼まれ、新人女優・華井乃愛のパーティに出席した。そしてその場で、乃愛の出身村・尽忠村の名称変更のイベントに同行することになるが…。名探偵鯨庭が誕生した、悲しい事件が幕を開ける。

イベント情報

おはなし会 (毎月第2、4土曜日)

8月9日(土) 午後2時～2時30分
8月23日(土) 午前11時～11時30分

絵本となかよし

8月28日(木) 午前10時30分～11時

誠文堂新光社寄贈本の紹介

- 日本の香
- ビーズ刺し子のステッチアイデア
- かもめ食堂
野菜が美味しい季節のおそうざい
- メキシコ料理大全 第2版
- コーヒー語辞典 第2版
- 奇跡の地球庭園 仙石庭園
- ヤモリ 完全飼育
- はじめてのどーる
布服レシピ 第2版
- ちくちく！あいうえおえほん



◆新刊・新着本のご案内

新刊続々



一撃のお姫さま
(島本 理生 著)



麦本三歩の好きなもの 第三集
(住野 よる 著)



不等辺五角形
(貫井 徳郎 著)



対決の記者
(本城 雅人 著)



今日は昨日のつづき
(谷川 俊太郎 著)



星の花
(濱野 京子 著)



ジョナサンいいかげんにして！
(ウィリアム・コール さく)



うさぎのしま
(近藤えり・たてのひろし 作)



読書感想文が終わらない！
(額賀 澤 作)



国境って何だろう？14歳からの「移民」「難民」入門
(内藤 正典 著)

